

1 2月定例記者会見の概要

1. 日 時 平成30年12月5日(水) 13時30分～14時05分

2. 場 所 本庁舎3階 第一会議室

3. 出席者 <報道機関>

朝日新聞社 南相馬支局

NHK南相馬報道室 (南相馬記者クラブ会員)

河北新報社 南相馬支局

共同通信社 福島支局 (南相馬記者クラブ会員)

毎日新聞社南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)

読売新聞社 南相馬通信部

福島民報社南相馬支社 (南相馬記者クラブ会員)

福島民友新聞社相双支社 (南相馬記者クラブ会員)

みなみそうまチャンネル

計 9 社

< 市側 >

市長 林副市長 松浦副市長 教育長

総務部長 復興企画部長 市民生活部長

健康福祉部長 健康福祉部理事 経済部長 建設部長

総合病院事務部長 小高病院事務部長

小高区役所長 鹿島区役所長 教育委員会事務局長

計 16 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報係

【市政報告】

皆さんこんにちは。お集まりいただきありがとうございます。

例年であれば12月定例記者会見は、議会本会議前に開催していましたが、今年
は、先の市議会議員選挙の関係により、本日の開催となりました。

既に記者の皆様には、提出議案の要旨や、主要事業説明書の配布は完了していま
すので、議案等に関しては簡単な説明とさせていただきたいと思います。よろしく
お願いいたします。

なお、選挙後初の開催となる議会です。執行部では、議会に対し丁寧な議論を通
じて真摯な対応を心掛けます。

まず、今定例会には議案29件、報告1件の全30件の提案・報告を行います。

議案では、東京電力ホールディングス株式会社が支払いに合意しない東京電力福
島第一原発事故に係る損害賠償請求額と、申し立てに係る代理人に要する費用の合

計額として2億3,810万2,539円を支払うよう和解のあっせんを申し立てるための議決を求めます。

あっせんの申し立ては、今回で3回目となります。

東京電力ホールディングス株式会社より賠償の対象外とされた平成23・24年度分の金額の一部で、主に減収となった交付金や受益者負担金が、申し立ての内容となります。

予算の補正に関しては、小高区内の子育て環境の魅力を高め、小高区住民の帰還を促進するため、幼稚園と保育園の機能を併せ持つ「小高区認定こども園整備事業」として建設工事を実施するための予算を計上しております。

また、新規事業として「人材確保のための奨学金返還支援事業」を、9月議会に提案・可決いただいた「南相馬市みらい育成修学資金」に続き計上しました。

「みらい育成修学資金」は、学生に対する就学を支援する制度でしたが、本制度は、大学等の既卒者や卒業見込みの方を対象とした人材確保支援策となります。

市外からの若者等のU Iターン就職など、流入促進と定着を図り、市内で不足する人材を確保するため、市内事業所等への就職を希望する大学等の在学生又は卒業した方に対し、奨学金返還のための補助金を交付するものです。

内容としては、

保育士、看護師に対する就職奨励金として40万円を交付

医療、福祉 農林水産業など市内の事業所等に就職する方への奨学金返還支援補助金として最大で144万円を交付するものです。

本事業に関しては、要件を満たせば就職奨励金と奨学金返還支援補助金の両方の給付を受けることができます。

奨学金返還支援補助金は、市内事業所への1年以上の勤務が要件となっていますので、最初の補助金交付は、平成31年度となります。次年度以降は、年間20件程度の補助金交付を見込みます。

なお、今年度計上した予算は6万6千円で、内容はチラシの作成代等となっております。

本日5日は、^{ひがしまち}東町エンガワ商店の閉店セレモニーが同所にて行われます。

平成27年9月に仮設店舗として開店し、当時は一時帰宅の住民や、小高区の復興に携わる人たちの利便性の向上を目的に整備したところでしたが、小高ストアの開所に伴い「仮設店舗」としての所期の目的を達成したもとして閉店とするものです。

これまでエンガワ商店をご愛顧くださいました皆様をはじめ、運営を支えてくださった関係者の方々に感謝を申し上げるとともに、この思いを小高ストアの運営に引き継いでいきたいと思っております。

また、本日は店舗側の希望もあり、通常通り20時まで営業を行い、閉店後にセレモニーを開催する運びとなっております。

遅い時間となってしまう恐縮ですが、記者の皆様には、是非取材いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

さらに、前回の記者会見でも周知しておりますが、翌6日(木)10時から、小高

ストアの開所式が行われます。

当日は、趣向を凝らした企画を多数用意しており、その一つとして、小高区出身でサッカー日本代表の専属シェフ西芳照氏にもお越しいただき、地元食材を使いシェフが作るカレーライスの振る舞いなどもあります。

これまで多くの小高区の住民が、商業施設の開店を待ちわびたことと思います。

平日の式典となりますが、多くの方々にご来場いただき、小高ストアの開所を祝い、喜びを共有したいと思います。

なお、施設の名付け親である小高小2年の五十嵐音葉ちゃんは、小学校の協力によって出席してもらえることとなり、テープカットに登壇いただく予定となっています。

今年の秋は、市民の皆さんが作り上げた「収穫の秋」「文化の秋」「スポーツの秋」といった季節にふさわしい様々な行事が行われ、市長としての公務を通じて、市民の皆さんと共に実りの秋を満喫させていただきました。

それぞれの催しでは、市民の皆さんが生き生きと活動する姿を拝見することができましたし、市内産のコメが学校給食に提供できるようになった事など、復興が着実に進んでいることを感じることができました。

さらに復興を進めるため、予定を1年前倒しして策定に取り組む 南相馬市復興総合計画 後期基本計画については、今月15日(土)から、各区ごとに市民説明会を行うとともに、パブリックコメントを実施し、市民の方々の意見や提案を広く募集します。

年明け以降には、市民で構成される総合計画審議会の開催が予定されています。

家族や友人とともに暮らし続けられる100年のまちづくり実現に向けた後期基本計画を審議会の答申などを経てお示しできるものと考えております。

福島県からの紹介により市内の中学生29名が、台湾行政院客家委員会からの招待によって、冬休みを利用して台湾を訪問することとなりました。

12月23日(日)から5日間の行程で、台北市内や総統府の見学、台湾文化の体験など、子供たちの成長に良い影響を及ぼす貴重な経験を積んでくれることと思います。

このような機会を与えてくださいました、客家委員会と福島県に対し感謝するとともに、市内全ての中学生が、海外研修を体験できるよう、公約の実現に向けて努力してまいります。

12月25日(火)には、市ホームページを約6年ぶりにリニューアルします。

メインサイト1つと、サブサイト2つの構成で、メインサイトのコンセプトは「市役所辞典」です。市民の皆さんが使いやすく、情報を探しやすいサイトを目指しました。

サブサイトは、来訪者向けのサイトとなっており、1つ目は観光情報サイトで、画像を中心に市の魅力を発信します。

2つ目は移住定住サイトとなっており、移住希望者などに役立つ情報を掲載します。

また、ホームページは、お年寄りや障がいをお持ちの方にも配慮しており、文字

を大きく、字間・行間を広く取っていることが特徴です。

私からの報告は以上です。各部長による報告のあと、皆さんからのご質問をお受けいたします。

【各部からの報告】

総務部

- ・第3回南相馬市議会定例会市長提出議案の要旨

復興企画部

- ・南相馬バスターミナルの運用開始について
- ・原町南部地区太陽光発電所起工式の開催について

市民生活部

- ・平成30年度南相馬市交通安全パレード実施概要について

健康福祉部

- ・南相馬市地域医療提供体制整備事業補助金の募集期間の延長について

経済部

- ・地酒「御本陣」酒米刈取り体験参加者募集について

鹿島区役所

- ・第3回かしまみなとまつりの開催について
- ・真野川サケ有効利用調査の実施と応募状況について

教育委員会事務局

- ・南相馬市みらい育成修学資金条例の概要について

【質疑応答】

質問1：

奨学金返還支援補助金について、待機児童の解消や地域医療の再生など提案に至った背景などをお聞かせください。

回答1：市長

記者お質しの通り、待機児童の解消、地域での医療人材の確保などが喫緊の課題として挙げられます。加えて、長いスパンで捉えれば、生産年齢人口の減少なども挙げられるため、ロボットテストフィールドを核に、人材あるいは事業所を呼び込むために、中・長期的な人材確保も必要であることから、新事業の提案に至ったところです。

質問2：

奨学金返還支援補助金について、他の自治体でも同様の返済支援制度を設けていますが、他の自治体にはない南相馬市独自の特徴はありますか。

回答2：経済部長

県内自治体の先進事例としては、いわき市、喜多方市、三春町が設置していることを確認しています。人材不足が顕著な保育士と看護師に対して就職奨励金を設けたことが、本市の制度の最大の特徴です。

質問3：

市ホームページのリニューアルについて、12月25日とした理由を教えてください。

回答3：教育委員会事務局長

リニューアル日を1月1日付とすると、委託する事業所が正月休みであるため、12月25日をリニューアルに最適な期日と判断し決定したものです。

問4：

市ホームページに関して、移住定住サイトとは既存のものを移行させるのか、あるいは全く新しい内容のものでしょうか。また、サイトの内容は、移住定住に関してどの程度触れているのでしょうか。

回答4：総務部長

現在公開中のホームページに移住定住サイトはありませんので、新たな公開内容となります。

回答4：

移住定住サイトは「市の魅力発信サイト」「もっと南相馬市を知りたくなるサイト」といったコンセプトのもとで作成しており、広報係が撮りためた画像やコンテンツを馬事文化にちなんでまとめるなどして、南相馬市の独自性をアピールしたいという考え方で、サイトの作成を進めています。

問5：

奨学金返還支援補助金について、可決されれば1月1日施行予定との説明でしたが、資料記載の「交付要綱施行日」とは1月1日と理解してよろしいでしょうか。また「定住」の定義を教えてください。

回答5：経済部長

施行日に関しては、記者お質しのとおりです。「定住」については、住民票を南相馬市に移すことと定義しています。

質問6：

先日発表された縄文遺跡におけるクルミ入りの網籠は、状況が一目で分かる素晴らしい出土品で、今後全国からの関心が一気に高まることが予想されます。これについて市長の感想をお聞かせください。

回答6：市長

まとまった数で出土された全国初となる貴重な発見となり、大きく記事を取り上げていただきありがとうございました。今後、文化財として活用のお話もありますので検討していきたいと思えます。

回答6：教育委員会事務局長

発見場所が、地域の有力な豪族、力を持った支配者がいたのではないかと学会で検討していただいているところで、結果が待たれます。いずれにしても、発見場所が交通の要衝または産業集積の場所であったことが推測されます。本市の海沿いには、製鉄炉の遺跡もあります。当時を知る貴重な資料として学会から注目されていることから、地域の誇りと位置付けられるところまで持っていけるように活用を検討していきたいと考えています。